

「稲沢市汚水適正処理構想（案）」に対するパブリックコメントの実施結果

- 1 募集期間 令和4年1月15日（土）から令和4年2月14日（月）まで
- 2 意見提出者 2人
- 3 意見件数 4件
- 4 提出された御意見の要旨と市の考え方

（御意見は、文意等を損なわない内容に要約・補足等をさせていただいております。）

	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
1	全体	<p>浄化槽に抵抗のある若い世帯が多いです。中長期的にみて、下水道を布設した方が良いと思います。また、直ぐに工事が完了するわけではないため、スタートは早くした方が良いと考えます。</p>	<p>下水道の事業運営は使用料や公費等で賄われていますので、効率性を高め、健全な事業運営を行う必要があります。このため、市内全域を下水道で整備することは困難であり、下水道整備が優位か、個別浄化槽の設置が優位か等、人口密度や地理的な条件等の経済比較により、効率的、効果的な手法を適切に判断し、下水道の計画区域を定めております。</p> <p>現在、計画区域については、計画に基づき、順次、下水道整備を進めているところですが、計画区域外については、今のところ、下水道の計画区域を大きく拡大する予定はありません。ご理解のほどお願いします。</p>
2	5. 効率的な事業運営の検討	<p>長岡西部地区は健全性が高く改築が当面不要であるため今回の計画では公共下水道への編入すべき地区から外れました。経済性の観点を考えて改築が必要となった時期には公共下水道へ編入するという認識でよろしいでしょうか？</p>	<p>比較的施設が新しく、健全性が高い、長岡西部地区は、当面農業集落排水を維持し、処理場の大規模な改築が必要となった時期に、社会情勢及び経済性等を加味したうえで、公共下水道に接続するか、農業集落排水として維持するか等を適切に判断していきます。</p>
3	7. 今後の稲沢市の汚水処理計画	<p>合併処理浄化槽の普及率(接続率)は17.1%と低い状況にあります。普及拡大のための具体的な施策についてご教示ください。</p>	<p>ご意見の17.1%は、供用開始後3年以上が経過した公共下水道整備済み区域の内で、下水道未接続者が合併処理浄化槽を利用されている割合を示しております。（稲沢市HP「下水道に接続しましょう(接続状況)」参照）</p> <p>なお、本市の合併処理浄化槽の普及率は年々増加しており、令和2年度末で、31.7%です。</p> <p>合併処理浄化槽への転換を推進する取組としては、広報とホームページで浄化槽設置事業補助金について周知するとともに、市内の浄化槽設置業者へ啓発用チラシを渡し、合併処理浄化槽への転換工事の推進をお願いしております。</p> <p>今後も引き続き、河川の浄化促進のため、合併処理浄化槽への転換を推進すべく、市民の方へ、補助金の活用等について周知を努めてまいります。</p>
4	その他	<p>下水道接続率は76.5%の状況です。接続率向上のための具体的な施策についてご教示ください。</p>	<p>下水道の供用開始後、3年以上経過した区域内で下水道に未接続のお宅を対象に、市の担当職員がチラシ等を持って直接訪問し、下水道の接続PRを実施しています。また、新規整備地区については、説明会等を活用し、整備後の早期接続を啓発しています。</p> <p>区域内の住民の方々の方々の御協力がなければ下水道接続率の向上を実現することはできませんので、今後も引き続き、広報やHP等もあわせて活用し、粘り強くPRを続けていきたいと考えております。</p>